

平成30年度 学校評価書（自己評価・学校関係者評価）

学校教育目標	豊かな人間力を備え創造力に富み、山形の未来をひらく社会的使命を自覚する、健康で実践力のある工業人の育成を期す。
--------	---

本年度の重点目標	1 明瞭で積極的な学校運営
	2 学習指導の充実
	3 生徒指導の充実
	4 進路指導の充実
	5 地域産業界と連携した工業教育の推進
	6 危機管理の徹底
	7 キャンパス制の推進

達成度	A	達成
	B	概ね達成
	C	やや不十分
	D	不十分

目指す学校像	(1)常に前進する学校 (2)地域に根ざし、地域に開かれた工業高校 (3)一人ひとりの個性を生かし、将来、工業の各分野で活躍できるスペシャリストを育てる学校
目指す生徒像	(1)基礎学力を身に付け、変化に対応できる工業技術者 (2)礼儀正しく、勤労意欲に富む生徒 (3)自己を理解し、自己実現に向かって努力する生徒 (4)豊かな感性と社会性、国際感覚を持つ生徒
目指す教師像	(1)使命感を自覚しプロ意識が高く、常に学び続ける教師 (2)生徒、保護者、地域社会より信頼される教師 (3)生徒の能力と個性を生かし、社会で活躍できるスペシャリストを育てる教師

自己評価					学校関係者評価
番号	評価項目	具体的方策（30年度）	主な数値目標	達成度	今年度の成果と課題 次年度に向けた課題と改善策など
1	学校運営	①「目指す学校像・生徒像・教師像」の実現に向けて、全職員・全生徒の共通理解の下、協働実践による明るく生き生きとした教育活動の実現を目指す。 ②開かれた学校づくりを推進し、学校・家庭・地域の連携を深める。 ③教職員一人ひとりが自己研鑽に励み、教員力の向上に努める。	・PTA総会の保護者の参加率を60%以上とする。 ・学校ホームページを月1回以上更新し、情報発信に努める。 ・全職員が参観できる授業研究週間を2週間設定し、教師の授業力を付ける。	B	小・中学校との関わりもあり、PTA総会の出席率は43.7%と下がったが、各種PTAの会議や行事では多くの保護者の協力を得た。行事毎にホームページを更新した。また、学校評価の結果についてもホームページとPTA新聞に掲載するなど開かれた学校に努めた。授業研究期間を設定し、互いの授業参観等により授業改善に取り組み、指導力向上に努めた。
2	学習指導	①面白く、わかりやすい授業を工夫するとともに、主体的・探究的な学びに向けて授業改善を進める。 ②基礎学力定着、学力向上の取組みを充実させ、生徒の主体的な学習を促す。 ③言語活動、読書指導を充実させ思考力、判断力、表現力を高め、人間力豊かで国際的視野を持つ生徒を育成する。 ④資格取得の取組みを充実させ、技能検定合格率60%以上を目指す。	・年間出席率99%以上を目指す。 ・生徒の授業満足度 3.0以上を目指す。 ・入学定員充足率100%を目指す。	B	授業評価や研究授業を活かして、各教科で基礎学力の定着、学力向上のための工夫に努めた。人間性豊かな生徒を育成するため、毎月の朝読書週間に取り組んだ。技能検定をはじめとする難関資格取得にも意欲的に取り組ませた。基礎学力を充実させるため、家庭学習の習慣化など生徒の学ぶ意欲を引き出す工夫が必要である。資格試験の合格率の向上と難関資格取得に挑戦する生徒の育成を図っていく。
3	生徒指導	①生徒一人ひとりの規範意識と社会力を高め、家庭・地域及び関係機関との連携を密にして、問題行動やいじめの未然防止・早期発見・早期対応に努める。 ②キャリア教育の視点により、生徒一人ひとりの特性に応じた日常生活指導と教育相談活動等の充実を図る。 ③全国に発信できる「ものづくり」や研究活動、全国に挑戦できる部活動を推進する。 ④特別支援教育を推進して、組織としての対応と個に応じた支援体制を充実させる。	・問題行動「〇」、盗難[〇]をめざす。 ・いじめ「〇」、もしくは、早期解決100%を目指す。 ・各活動出席参加率100%を目指す。 ・部活動において東北・全国にも出場する。 ・交通重大事故発生件数「〇」を目指す。	B	問題行動は、事故事案・問題行動は7件、盗難紛失は4件であった。3学期は0件で、これは丁寧な指導の成果であり、今後も継続する。いじめ認知に関しては、月日が経過することにより減少し、担任、学年の速やかに対応で、早期解決に結び付けられた。今後も全職員で情報を共有していく。生徒会活動は非常に充実した。部活動は運動部成績は東北大会出場1名だが、2つの文化部が県のトップの結果を獲得した。交通事故に関しては1年生が多かったが、重大事故に関しては「〇」で目標達成できた。
4	進路指導	①進路希望を高く持って、それを達成できる人材を育成する。 ②キャリア教育総合実践プログラムに基づき、計画的、組織的、継続的なキャリア教育の充実を図る。	・希望進路達成100%を目指す。 ・民間就職と進学の見込みでの合格をそれぞれ80%、90%以上を目指す。	A	希望進路は99%達成。民間就職第1希望（1回目の受験）での合格率は85.9%、進学（第1希望）の合格率は89.7%であった。時宜に合った、より効果的な指導を実践していきたい。
5	地域と連携した工業教育	①資格取得を目指し、知識、技術、専門性の高い人材を育成する。 ②ものづくり教育の質を向上させると共に、新たな時代の要請に応え、地域の発展に貢献できる工業教育を推進する。 ③課題研究の充実を図り、課題研究校外発表会等を通して、主体的な課題解決能力と表現力を身につけられるように努める。	・各種資格取得に意欲的に挑戦し、技能検定では50%以上の合格率、および30名以上の合格者を目指す。 ・ものづくりコンテストや各種大会に参加し、県大会上位入賞を目指す。 ・課題研究では各科7つ以上のテーマで研究を行い、各科研究発表会を通して、取り組み内容を保護者や企業、地域の方々に知ってもらおう。 ・公開講座など地域に開かれた取り組みを各科1回以上実施し、専門分野の教育活動を広く地域にPRする。	B	地域企業やマイスターとの連携を進め、資格取得の指導体制の確立を図った。マイコンカーラリー2019全国大会への出場、やまがた高校生ロボコンコンテスト優勝など各種コンテストで活躍した。課題研究では各科、特色ある研究活動を行い、今後も生徒が自らテーマを見出し取り組み体制を強化する。地域ボランティア活動や小学生へのものづくり講座など更に充実させ、本校の教育活動を地域から理解してもらえるようにする。
6	危機管理	①防災意識の徹底、不審者への対応及び学校情報管理の理解と徹底を図る。 ②生徒・教職員の心と体の健康管理に努める。 ③公金等各種会計処理の適正化に努める。	・避難訓練を年2回実施し、危機意識を高める。 ・救急対応に関する講習会として、2分野以上の企画をめざす。 ・心身の健康に関する講習会として、2分野以上の企画をめざす。 ・公金等執行状況報告に合わせ会計指導を実施する。	B	消防署の協力を得て、地震・火災を想定した避難訓練を2回実施し、生徒たちの危機意識を高めることができた。救急講習・健康講習とともに達成し、意識の高揚となった。なお、中断のない日頃の実践が課題である。公金等の会計処理では、現金の取り扱いについて、厳格な処理を行うよう職員会議等で徹底した。
7	キャンパス制	①左沢高校と協力し、キャンパス制の連携・交流を充実させる。	・合同講演会を開催し、両校の交流を図る。 ・生徒会など生徒同士の交流を年2回以上行い、交流を深める。 ・互いの授業参観を2回以上設定し、教員の授業力向上を図る。	B	地域からの理解を深めてもらえるように、広報していく。また、両校によるボランティア活動、部活動の交流も盛んとなるよう工夫する必要がある。

自己評価及び学校関係者評価の改善点、他	学校関係者評価委員の皆様から、本校の取り組みに対する助言や温かい励ましをいただいた。目標についてはほぼ達成しているとの評価を得ることができたが、2回の会議で委員の方々からいただいたアドバイスを今後とも学校運営に役立てていきたい。
---------------------	--